

|       |           |        |             |                               |          |
|-------|-----------|--------|-------------|-------------------------------|----------|
| 授業科目名 | 国際理解と国際貢献 |        | 担当教員        | ◎大野知代、山田案美加、<br>亀田隆明、磯辺晴美、呉海松 | 科目ナンバリング |
| 必修    | 開講年次：1年前期 | 単位：1単位 | 授業形態：演習30時間 |                               | LE124    |

### 【授業概要】

世界の地理や文化を再認識するとともに、急変していく世界情勢や社会、経済、健康・医療や生活問題点を取りあげて討議し、国際的視野の拡大を図る。また国際貢献活動については、世界の国際保健援助活動を展望し、わが国の医療者や福祉関係者の国際活動やボランティアリズムについての理解を深める。

### 【達成目標】

1. 世界の地理的知識と文化、人々の生活について理解し認識を高める。
2. グループワークを通して国際理解・貢献に必要な人間性、資質、役割等について考えを深める。
3. 世界の人々の健康・医療、貧困、教育等に関心を深め、国際人として身近な国際理解・貢献について自己の考えが述べられる。
4. 保健医療分野における国際貢献・国際協力とボランティアリズムのあり方について討議する。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

- |                                      |         |
|--------------------------------------|---------|
| [01] 授業概要オリエンテーション                   | (大野・山田) |
| [02] 日本の国際貢献・国際協力ー日本のODA、NGOによる国際協力ー | (山田)    |
| [03] 身近な場における国際理解と国際貢献・国際協力          | (磯辺)    |
| [04] 地域別課題①：ロシア                      | (亀田)    |
| [05] 地域別課題②：カナダ                      | (山田)    |
| [06] 地域別課題③：中国                       | (呉)     |
| [07] 地域別課題演習①：演習オリエンテーション・グループの組分け   | (大野・山田) |
| [08] 地域別課題演習②：演習テーマ：異文化理解について        | (大野・山田) |
| [09] 地域別課題演習③：演習テーマ：国際人の資質について       | (大野・山田) |
| [10] 地域別課題演習④：演習テーマ：国際理解について         | (大野・山田) |
| [11] 地域別課題演習⑤：演習テーマ：国際貢献について         | (大野・山田) |
| [12] 地域別課題演習⑥：各グループの発表・評価            | (大野・山田) |
| [13] 医療保健分野での国際貢献・国際協力②日本式医療ツーリズム    | (呉)     |
| [14] 医療保健分野での国際貢献・国際協力③亀田総合病院の取り組み   | (磯辺)    |
| [15] 自分ができる国際貢献・国際協力、まとめ             | (大野・山田) |

### 【教科書】

特になし

### 【参考書】

- 池上彰 編著(2016). 世界を救う7人の日本人ー国際貢献の教科書, 朝日新聞出版  
 水巻中正 編著(2019). 令和 はばたく医療ツーリズムー国際貢献と連携の新時代, 中央公論新社  
 葉田甲太(2019). 僕たちはヒーローになれなかった., あさ出版  
 中田正一(1995). 国際協力の新しい風僕たちはヒーローになれなかった。パワフルじいさん奮闘史, 岩波書店  
 スー・チュラリー, 勝井信子, 渡辺知花(2012). 異文化理解とヘルスケア, 日本放射線技師会出版会  
 徳永瑞子(2012). アフリカの詩ー看護師徳永瑞子の日本へのメッセージ, クオリティケア

### 【評価方法・評価基準】

筆記試験：80%

授業参加態度：20%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

日頃から世界の情報に関心をもち、その情報から得た内容を整理して授業に臨む(1.5時間)。

授業で学んだことを通して国際理解・貢献に関する問題・課題・役割等について整理する(1.5時間)。

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力、Ⅴ. 国際的視野と地域貢献能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

学修状況に応じて学生のニーズを把握し、最終評価に到達させる。

### 【備考】

本科目は、3年次の「国際看護学Ⅰ」、4年次の「国際看護学Ⅱ」に関連する科目である。そのため、授業に関する質問、意見など積極的に問い自分の考えを深めてもらいたい。